

まつもと じゅん  
**松本純**

中区・磯子区・金沢区  
**まちかど  
政治版**

平成19年12月1日号  
発行 かながわ1区支部  
編集長 平木 茂



**12**月号  
2007年  
No.58

松本純ホームページ 毎日更新中! [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp) ▶ 検索キーワード「松本純」

## 「今、薬害C型肝炎で闘っている患者の救済を急げ」 厚生労働委員会での質問に舛添大臣が積極答弁!

10月31日の衆議院厚生労働委員会で、久しぶりに質問に立ちました。汚染された血液製剤フィブリノゲンの投与によってC型肝炎に感染したとして、患者の皆さんが国と製薬会社に損害賠償を求めている問題についてです。

「過去をほじくるばかりではなく、今、患者さんに対していかに早くきちんと対応できるかが重要だと思っています」。私は、冒頭にこう前置き

して、「国は法的責任を認めて政府声明という形できちんと謝罪すべきだ」「患者さんへの支援策は、与党の肝炎対策プロジェクトチームがまとめた支援策に沿って実施すべきだ」などと質問しました。



舛添要一厚生労働大臣の答弁は、極めて明快でした。国の責任については、「今の松本委員の気持ちを実現できるよう全力をあげます」と積極答弁。さらに、私が過去の厚生労働省の対応のずさんさを指摘したことに対しては、「(厚労省は)組織の体をなしていない。相当な荒療治をやってきちんとした組織に立て直さないといけない」とまで断言しました。

患者さんへの支援策については、「与党プロジェクトチームの提言を受けて、肝炎治療7年計画を実施したい」と答えました。これは肝炎に有効なインターフェロン治療が高価なため現在5万人程度にとどまっているのを、所得額に応じて公費助成して10万人に倍増させようというものです。この提言には、私もチームの一員として参画してきましたので、舛添大臣がここまで踏み込んで答弁されたのには感激しました。

翌日、議員会館の私の事務所に裁判で闘っている2人の女性がお見えになりました。薬害肝炎全国原告団代表の山口美智子さんと九州訴訟原告の出田妙子さんです。「初めて、ああいった発言を切り出していただき、大変感激しました」といういいなごあいさつでした。

薬害肝炎訴訟は大阪高裁で和解の動きが出ています。今年中に出される高裁の和解案に国・製薬会社、原告の双方が同意すれば、薬害肝炎訴訟は提訴から5年目で解決に向かいます。福田康夫首相も「なるべく早く和解が成立してほしい」と、すでに和解を決断しています。

一日も早い和解を私も切望しています。そして今回の質問を通して、与党議員といえども政府の責任追求は議員としての責務であり、国会で当たり前のことを当たり前に訴えることの重要性を改めて痛感したことを皆さんにご報告します。

## 松本議員の国会レポート ④6

平成19年

【11月3日(土)】

午前10時 ●第2回磯子区民綱引大会  
正午 ●朝比奈斌油絵展

【11月9日(金)】

午前8時 ●アクト・イケンバさんを囲む  
朝食懇談会  
午前9時30分 ●役員連絡会  
午前10時 ●副幹事長会議  
午前11時 ●横浜国道事務所長から説明聴取  
午後0時45分 ●代議士会  
午後1時 ●本会議  
午後1時30分 ●河野洋平議長表敬訪問

【11月21日(水)】

午前7時 ●第58回早朝駅頭演説会 (磯子駅)  
午前9時15分 ●首都高速「横浜公園出口」開通式  
午前11時 ●星槎高等学校国会見学  
午後1時 ●厚生労働委員会  
午後3時 ●スポーツ議員連盟総会  
午後6時 ●製薬協フォーラム・懇親会  
午後8時 ●花純会

磯子区綱引連盟(関勝則会長)が主催する区制80周年記念の大会には、14チームが参加して、迫力ある熱戦が展開されました。各クラスの上位入賞チームは、次のとおりです。【小学生男子】優勝・洋光台ジュニアライダーズ、準優勝・杉の子クラブ【一般男子】優勝・Jパワー燃える男達!、準優勝・南横浜火力発電所、3位・八日会【一般女子】優勝・本郷小マザーズ、準優勝・Re:モンロー、3位・H1永田モンスター軍。皆さん、おめでとうございます。

Friends of the global fund AFRICAの最高経営責任者(CEO)であるイケンバさんをお迎えして、アフリカの感染症、エイズ、マラリアなどの現状と国際支援のあり方について話をうかがいました。「国際的な支援網が広がっていますが、なお年間約2兆円が不足しています」というイケンバさんは、世界中を飛び回って各国政府や国際企業などに支援の拡大を訴えているそうです。出席者は意見交換を通じて、改めてその深刻さと対策が急務であることを痛感しました。

元町や中華街の念願だった首都高速湾岸線方面からの「横浜公園出口」が開通しました。吉浜町から横浜公園までの約600mの高架です。これによって、東京方面から湾岸線を経て中華街・元町・関内・伊勢佐木町などに行くのに、これまでの新山下出口利用に比べて6分、磯子方面からだ三溪園出口利用に比べて13分、それぞれ短縮されます。「来街者を増やしたい」という地元の要望で、初めからその計画に関わってただけに、責任を果たせた思いです。



▲10/30国会見学いらした磯子区上巻下連合日赤奉仕団の皆さんと

▲11/3 第2回磯子区民綱引き大会で、チームワークの力強さに感動しました

▲11/9 エイズなどアフリカへの支援のお話を伺ったイケンバさん

▲11/21 首都高速「横浜公園出口」開通式で。YB大矢監督、中田市長と。

## 永田町日記 新しいポスターができました!

例によって私の「デカイ顔」がド真ん中を占めていることはお許しいただきたいと思いますが、今回のポスターの主演は、実はその背景にはめこまれた81枚もの写真なのです。平成15年6月に創刊されたこの「まちかど政治瓦版」に掲載されたたくさんの写真の中から選びました。永田町での活動、地元の方々と交流…この4年間の活動を記録した、私の貴重な財産です。よく見ると、あなたが写っているかもしれませんよ。そして、かつて私が3年間、英会話を教えていただいた立山工バリンさんが、キャッチフレーズを考えてくださいました。

「For a 21st Century Filled with Smiles～笑顔あふれる21世紀を!」というすばらしい言葉です。皆様のご協力、中区・磯子区・金沢区にはたくさん貼っていただきたいと思っています。ご希望の方は、ぜひ事務所へお申し込みください。(純)



まつもと じゅん プロフィール▶昭和25年4月11日、横浜市中区生まれ▶本町小、聖光学院中・高、東京薬科大卒、薬剤師▶本町小PTA会長、横浜JC専務理事、野毛大道芸実行委員長など街づくりや地域活動に取り組む▶平成2年～横浜市議(3期)▶平成8年～衆議院総選挙で初当選。専門を生かし医療・福祉・年金などに全力投球。介護保険制度を創設した責任者の一人▶平成12年～総選挙で次点落選▶平成15年～衆議2期目。総務大臣政務官に就任。▶平成17年～衆議3期目。総務大臣政務官に再任。三位一体改革、行財政改革など新しい日本の国の形をつくるため奮闘。▶平成7年11月～議院運営委員会理事、国会対策委員会副委員長として国会運営等に取り組む。▶平成18年9月～安倍内閣で自民党副幹事長に▶平成19年6月～自民党横浜市連会長▶平成19年8月～安倍改造内閣で自民党副幹事長に再任。▶平成19年9月～福田内閣で自民党副幹事長に留任。